



令和6年2月7日
千代田区医療的ケア児支援等協議会

世田谷区医療的ケア相談支援センター Hi・na・taの取り組みについて ～医療的ケア児等コーディネーターとして～



世田谷区医療的ケア相談支援センターHi・na・ta
センター長 等々力 寿純



医療的ケア児(者)への支援をめぐる国・都・区の動き

<国>

H28年 児童福祉法改正

*保健・医療・福祉などの連携促進の努力義務化

*第1期障害児計画策定の義務付け

→医療的ケア児支援の成果目標としてH30年度までに
保健・医療・障害福祉・保育・教育等の協議の場

R3年度 障害福祉サービス報酬改定

R3年9月 「医療的ケア児及びその家族に
対する支援に関する法律」 施行

<東京都>

R4年9月 東京都医療的ケア児支援センター
開設

<世田谷区>

H27年 「医療的ケアを要する障害児・者等
に関する実態調査」

H28年 医療的ケア児中核支援センター構想

H30年8月 障害福祉部を事務局とした
「世田谷区医療的ケア連絡協議会」 設置

H31年度 障害保健福祉課の新設

R2年度 センター創設に向けた取り組み

R3年4月～開設準備（委託契約開始）

8月～開設



世田谷区医療的ケア相談支援センターHi・na・ta

開設時期：令和3年8月～

場所：大蔵二丁目複合型子ども支援センター3階
国立成育医療研究センター敷地内

委託先：社会福祉法人
全国重症心身障害児(者)を守る会

職員体制：センター長（医ケア児CD）
相談員2名（医ケア児CD/うち1名・今年度研修終了）
看護師1名（医ケア児CD/今年度研修終了）
保健師・理学療法士
広報担当



* 世田谷区医療的ケア相談支援センター
Hi・na・taホームページ



ぜひご覧ください😊

世田谷区医療的ケア相談支援センターHi・na・taと重症児センターの関係

・退院後の生活不安だな

・誰に相談したらいいのかな

・困った わからない どうしよう



Hi・na・ta 

重症心身障害児療育相談センター 



基本相談（さまざまな相談への対応）

Hi・na・taから重症児センターへ支援機関変更（相談先）

基本相談（さまざまな相談への対応）

継続

必要
計画
相談

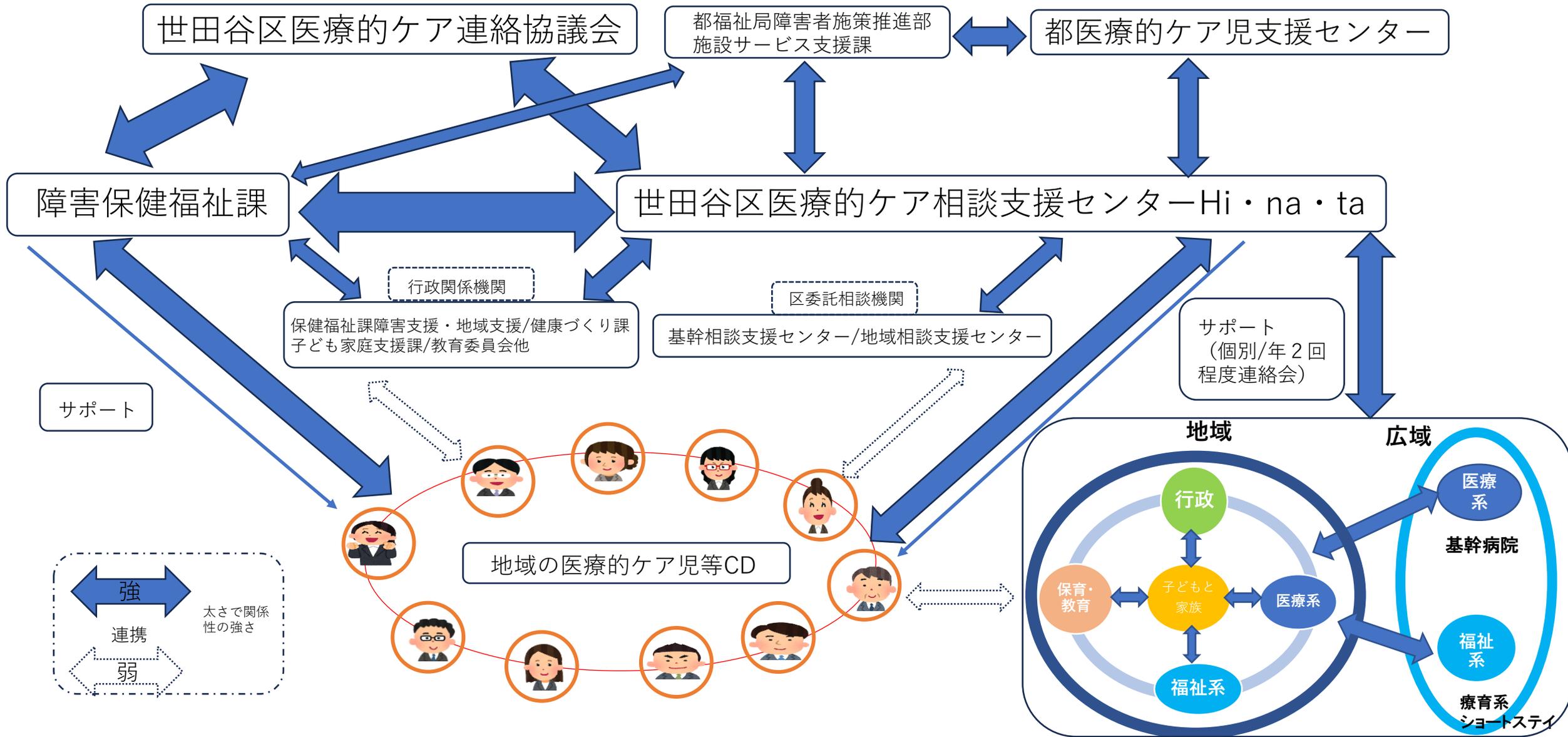
他事業所紹介（Hi・na・taフォロー）
計画相談支援
（計画作成・サービス調整など）

継続



計画相談支援
（計画作成・サービス調整など）

世田谷区における医療的ケア児相談支援体制（イメージ）





医療的ケアに係る現状・課題

- 様々な不安や悩みを抱えながらの子育て生活への寄り添いの必要性
複数の相談窓口による煩雑さ
- 医療的ケアに対応できる相談支援専門員の不足、質の向上
- 医療的ケア児を受け入れられる社会資源の不足や、受入れ施設内の少数の看護師配置における不安や悩み
- 人工呼吸器使用者以外の医療機器使用者への災害時の備え
- 本人・家族の孤立予防、ネットワークづくり
- 地域社会全体への普及啓発



世田谷区医療的ケア相談支援センター事業

1. 医療的ケアに関する専門相談支援
2. 在宅生活支援プランの作成
3. 施設への技術支援
4. 相談支援専門員に対する医療的ケアに係る人材育成・研修
5. 人工呼吸器使用者以外の災害時個別支援計画の作成支援
6. 医療的ケアの理解促進・情報発信
7. 権利擁護



在宅生活支援プラン

利用者氏名	〇〇 様	作成機関	世田谷区医療的ケア相談支援センター (Hi·na·ta)	作成者	□□	作成日		モニタリング	
<small>(本人・家族の主訴)</small>		支援の方針				<small>(在宅生活サポートチーム)</small>			
<small>(目標とする生活)</small>									
生活上の課題やニーズ	課題やニーズへの対応 (計画の目標)	現在(退院後)利用のサービス				留意事項			
		内容	種類	頻度	担当者				
今後必要になるとと思われるサービス						その他(特記事項)			
内容(該当項目に○)	種類	頻度	留意事項						
①相談支援事業所利用 ②児童発達支援/放課後ディサービス ③短期入所 ④居宅介護 ⑤手帳取得/小児慢性特定疾患/難病 ⑥車椅子作成/補装具作成 ⑦保育園・幼稚園入園/就学について ⑧災害時個別支援計画 ⑨その他									

人工呼吸器使用者以外の 災害時個別支援計画の作成支援



医療的ケア相談支援センターHir-nar-ta(ひなた)による作成支援

個別避難計画

初回作成日: 年 月 日 更新日: 年 月 日

ふりがな	氏名	電話
生年月日	年 月 日 生 (歳)	自宅 ()
住所	〒 世田谷区	携帯

居住地のハザード状況 (世田谷区地震防災マップ等からの予想される災害の危険)

洪水 高潮 土砂災害 地震 その他()

使用している医療機器	内蔵バッテリー	外部バッテリー	合計時間
<input type="checkbox"/> たん吸引器	時間	時間	合計 時間
<input type="checkbox"/> 酸素濃縮器	時間	時間	合計 時間
<input type="checkbox"/>	時間	時間	合計 時間
<input type="checkbox"/>	時間	時間	合計 時間

東京電力への登録 済 ・ 未

停電が長引く場合の電源確保方法

車のシガーライターケーブル 発電機(種類))

インバータ 無停電装置 蓄電池(種類))

その他())

施設名や名前	場所	電話番号

種類	担当者	所属	電話番号
たん吸引器(機種:)			
酸素濃縮器(機種:)			

3.点検しよう医療機器

- 人工呼吸器
バッテリー(内部 時間・外部 時間)
- 酸素濃縮器
バッテリー(内部 時間・外部 時間)
- たん吸引機
バッテリー(内部 時間・外部 時間)
- バッテリー(内部 時間・外部 時間)
- バッテリー(内部 時間・外部 時間)

電源確保方法

- 車のシガーライターケーブル
- 発電機(種類)
- 蓄電池(種類)
- インバータ 無停電装置
- その他()

4.見つけよう頼れる所

緊急時に頼れる人

氏名	
連絡先	
氏名	
連絡先	

谷折

緊急時に頼れる連絡先

- ・携帯電話災害用伝言版
- ・NTT 災害用伝言ダイヤル「171」

1.考えよう自宅の安全性

我が家が危ないのは…

洪水 高潮 土砂災害

地震 その他()

○世田谷区>防災・災害対策

- ・地区防災計画
- ・世田谷区雨量・水位情報
- ・土のうステーション(土のう置き場)
- ・震災時区民行動マニュアル(マップ版)
- ・世田谷区土砂災害ハザードマップ
- ・世田谷区洪水・内水氾濫ハザードマップ



○東京消防庁整備局>地震に関する地域危険度測定調査

- ・地震に関する地域危険度測定調査(東京都)



2.確認しよう避難場所

一時集合所 災害の危険がある時の一時的な避難場所

--

広域避難場所 自宅や一時集合所が危険な時の避難場所

--

家族の集合場所

--

指定避難所 自宅が居住困難な時等の避難場所(物品・情報等が集まる)

--

5.備えよう必要物品

備えたものを記入しよう

電源確保物品 外部バッテリーなど

医療機器の予備 吸引器、チューブなど

食事 経管栄養剤など

排泄 カテーテル、オムツなど

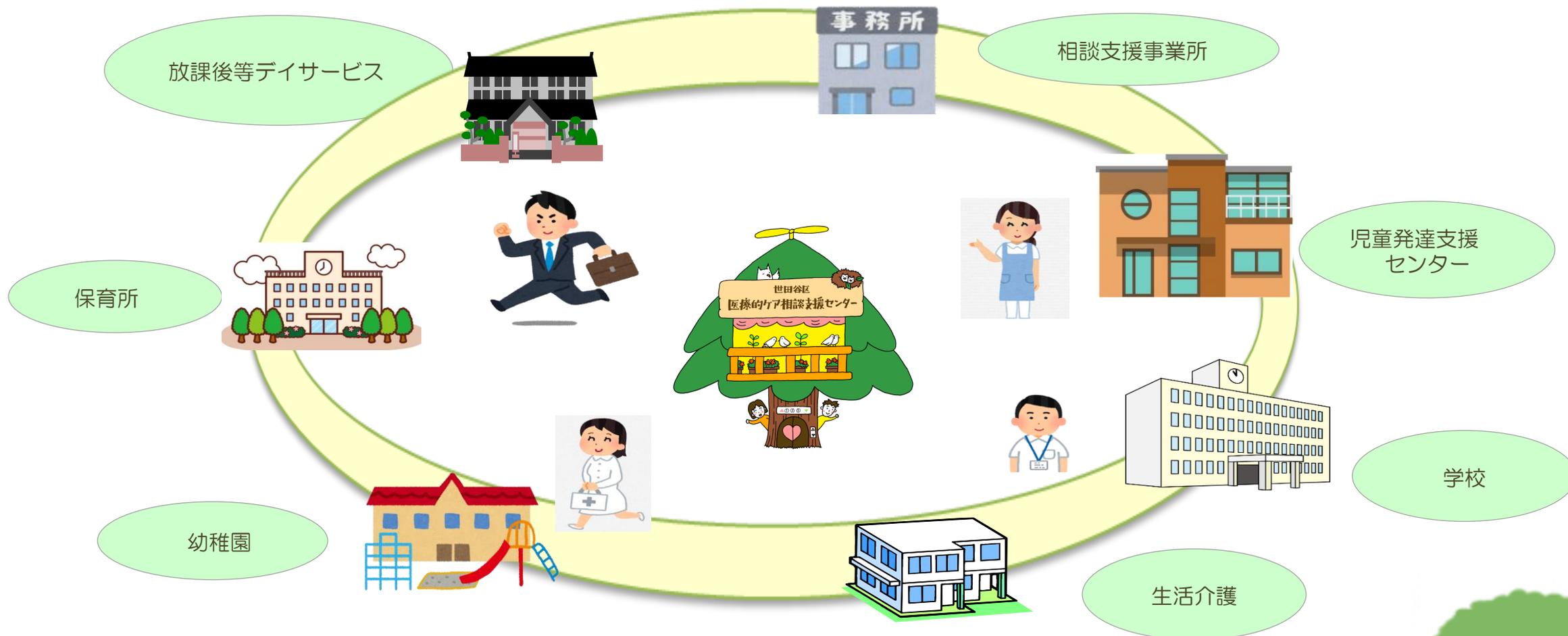
その他ケア用品
グローブ、アルコール綿、蒸留水、
薬7日分、最新の処方箋のコピーなど

証明書類 保険証、障害者手帳など

日用品 懐中電灯、ラジオ、乾電池など

施設への技術支援

定期訪問+随時対応（専門職による/医療的ケア児等コーディネーター・看護師・保健師・理学療法士）



- ・通所施設等が医療的ケア児等受け入れる際の不安解消、日常的な困りごと、質の向上などを目的とした助言指導
- ・医療的ケアに対応する施設看護師等へのサポート、支援ネットワーク構築



医療的ケアに係る人材育成および研修

- ※医療的ケア児支援を行えるよう、**相談支援専門員（医療的ケア児等コーディネーター）**の育成を実施
- ※医療的ケア児支援に携わる機関に対する必要な研修などへの協力（専門職による）



同行訪問



カンファレンス同席



関係機関等における
研修実施協力



座学





Hi・na・ta(ひなた) が目指すもの

医療的ケアについて
なんでも相談できる窓口として
困りごとや日々の思いを
気軽に話せる場として



ちょっと話を聞いて
欲しい

ひとときゆっくり
ほっとできる場として
訪れる人をあたたかく包み
込むような場所

少し疲れたから休憩
したいな

待っています

医療的ケアが必要な子どもと家族、また彼らを支える支援者などからの声にしっかり耳を傾ける。その中で現状把握に努め、対応・改善が必要なことなどは、行政および支援関係機関などに提言するとともに、協力しながら、医療的ケアが必要な子どもとその家族を支える全体的な体制構築を目指していく。